

高知市地域アクションプランの進捗状況等

高 知 市 地 域 本 部

令和3年2月17日（水）

高知市地域アクションプランの進捗状況等

R3.2.17

高知市地域本部

1 地域アクションプランの令和2年度の実施状況（総括）

(1) 総評

第4期産業振興計画については、新型コロナウイルス感染症防止対策を取りながら、県内外での商談会やセミナーへの出展、各種イベント等が開催され、経済活動の本格的な再開となった。

そうした中、地域アクションプラン全24項目については、実行支援チームを編成し、各種アドバイザーの導入、既存の助成制度や新型コロナウイルス感染症対策の支援事業の活用等により、生産体制の強化や経営力の向上、販路拡大等を図り、それぞれの目標の達成に向けて、遅れを取り戻せるよう力強く取り組みを進めている。

地域産業クラスターの取り組みでは、竹ハンドルに並ぶ新たな製品の需要の掘り起こしに努め、竹材の集荷や加工・販売などの竹産業を土佐山地区に集積して拠点化し、県内各地への集材先エリアの拡大を図るなど、竹資源を活用したクラスターの形成を目指している。

農業分野では、土佐山地区のユズ関連商品について、新型コロナウイルス禍でニーズの高まりが著しいインターネット販売を強化するとともに、都市圏を中心に販路開拓に取り組んでいる。

また、産地の維持や省力化による安定的な生産に向け、ドローンによる防除等の導入など、スマート農業の導入実証支援事業、先進地視察を行い本格導入による省力化を目指している。

さらに高知県産イタドリの外商については、鏡地区を中心に県内各地に栽培産地の拡大を図り、生産者と食品メーカー等で設立した「高知県イタドリ生産普及販売促進協議会」において、生産・加工・販売が一体となったブランドの確立や組織体制の強化に取り組み、生産団体の新規加入、体制の見直しが進んでいる。

観光・商工業分野では、桂浜・浦戸湾の一体となった取り組みを進めるべく、桂浜公園の観光案内所や休憩所等の整備や土産物販売店等の既存施設のリノベーション、浦戸湾遊覧船に新たに桂浜発着とする遊覧コースを造成するための船着き場の整備が進み、県内最大の観光地である桂浜公園の魅力アップによる観光客の増加に向けての大きな一歩を踏み出した。

今後、高知市を中心とした34市町村による「れんけいこうち広域都市圏ビジョン」に登載された連携事業などの活用により、高知市を核とした県内各地への周遊観光の促進に取り組んでいく。

(2) 具体的な動き

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 キュウリの生産販売対策の強化による産地振興（高知市）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・JA高知県（春野地区営農経済センター）</p> <p>・JA高知県（春野地区胡瓜部会）</p>	<p>[指標]</p> <p>出荷量（園芸年度※）※9～8月</p> <p>出発点（R元）：10,345t</p> <p>到達目標（R2）：11,878t</p> <p>目標（R5）：12,700t</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>出荷量（R2園芸年度）：10,172t（対前年度比：98.3%）</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○生産の収量・品質向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IPM 技術の推進 <ul style="list-style-type: none"> 天敵導入農家の課題整理(9～10月) 天敵利用実証ほの調査(4～6月、26回/7戸) 天敵利用農家への巡回指導(4～12月、15回/9戸) 黄化えそ病防除対策の啓発 (キュウリ旬報への投稿6月) 赤色 LED 実証ほの調査(11～12月、8回/1戸) 常温煙霧実証ほの調査(11～12月、4回/1戸) ・ 収量向上・生産の効率化 <ul style="list-style-type: none"> 作業環境改善の啓発「空調服の冷却効果」 (キュウリ旬報への投稿6月) 省力化技術の検討(4～12月) 環境制御技術の検討(4～12月) 環境制御技術に関する情報提供 (JA 広報誌への投稿6月)、(反省会7月)、(環境制御報告会8月)、(営農連絡会8月・12月) IoT プロジェクトの取り組み開始(協力農家17戸) ・ GAP の推進 <ul style="list-style-type: none"> H31 園芸年度生産者 GAP 点検シートの分析(4～5月) 新たな GAP 点検シートの作成(6月) GAP 情報の周知(キュウリ旬報への投稿4月)、(反省会7月)、(JA 広報誌10月号) GAP 研修(8月、20名) 改善状況の確認(10～11月、5戸) 出荷場 GAP 点検(5・7・10・12月、4回) <p>○担い手の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規就農者の受入強化 <ul style="list-style-type: none"> 新規就農者数 (R2 園芸年度) : 14名 就農支援チーム会(チーム会5～11月、4回)、基礎研修8・11月、4回)、意見交換会(8月、2回) R2 園芸年度研修生への就農支援(5～7月、4回) R3 園芸年度研修希望者への研修支援(面接4月、1回、マッチング研修4～7月、6回) R4 園芸年度研修生への研修支援 (希望者の面談6～12月、延べ5回・2件) 担い手募集活動(学校との連携6・7月、2回、32名) 新たな受入体制の検討会(5～12月、4回)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営管理の向上 <ul style="list-style-type: none"> サポートチーム会(4・7月、2回)、現地確認(7・10月、2回) 就農状況現地確認(7・12月、2回、14戸) 経営データ収集、分析(4~6・10~12月、6回/203戸) 個別経営指導(6~9月・12月、5回/10戸) 経営管理研修(8・11月、2回、20名) 経営データを活用した個別カウンセリング(6月、5名) 経営分析結果のフィードバック (キュウリ旬報への投稿6月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産の収量・品質向上対策 <ul style="list-style-type: none"> ⇒省力化、環境制御技術の普及促進 (実証試験結果等の情報提供) ⇒黄化えそ病対策の徹底 (IPM技術の普及促進) ・ 担い手の確保・育成 <ul style="list-style-type: none"> ⇒新規就農者の受入強化 (研修生への支援、新たな就農希望者へのPR活動) ⇒経営管理の向上 (個別カウンセリングによる経営管理向上に向けた支援、研修会)
<p>■No.3 新ショウガの生産振興(高知市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・JA高知県(春野地区営農経済センター) ◎・JA高知県(春野地区生姜部会) 	<p>[指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> 売上高(園芸年度*) ※9~8月 出発点(R元): 8.64億円 到達目標(R2): 8.70億円 目標(R5): 8.70億円 <p>[取り組み状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 売上高(R2園芸年度): 8.21億円(対前年度比: 95%) ○腐敗事故防止に向けたチェックシートの活用、啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・腐敗事故対策とGAPの連動 目慣らし会における啓発(5~6月、2回) 出荷場GAP点検(5・7・10・12月、4回) ○新たな栽培技術の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・炭酸ガス施用の実施 炭酸ガス施用試験ほ場の掘り取り調査(4~5月、2回)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 腐敗事故防止に向けたチェックシートの活用、啓発 ⇒GAP 点検シート利用の啓発 ・ 新たな栽培技術の検討 ⇒環境データ分析を通じた栽培技術の確立
<p>■No. 4 ユズを核とした中山間農業の活性化 (高知市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ ・ 高知市土佐山柚子生産組合 ◎ ・ JA 高知市 ◎ ・ 土佐山ファクトリー (協組) ◎ ・ 高知市 	<p>[指標]</p> <p>(1) ゆず販売額 (暦年)</p> <p>出発点 (H30) : 1.6 億円 直近値 (R 元) : 1.6 億円 到達目標 (R2) : 1.7 億円 目標 (R5) : 1.9 億円</p> <p>(2) ユズ精油等販売額 (年度)</p> <p>出発点 (H30) : 3,877 万円 直近値 (R 元) : 4,260 万円 到達目標 (R2) : 4,200 万円 目標 (R5) : 4,900 万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) ゆず販売額 (R2) : 2.2 億円 (対前年比 : 135%) ※気候によりゆず収穫量が増加したため</p> <p>(2) ユズ精油等販売額 (R2. 12 月末) : 3,159 万円 (対前年同期比 : 100%)</p> <p>○安定生産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本技術の徹底 発芽・開花状況の調査 (4~5 月、5 回) 果実肥大調査 (7~10 月、4 回) 黒点病防除対策の情報提供 (技術情報誌「ユズだより」 (5~9 月)) 開花期防除の情報提供 (技術情報誌「ユズだより」4 月) ・ スマート農業の推進 スマート農業技術実証支援事業の導入 ドローン防除の実証試験 (6~10 月、4 回) (実証圃 73a) アシストスーツ展示 (10/25) アシストスーツリースによる使用体験 (11~12 月) 先進地視察 (北川村 8/21、11/25) <p>○生産基盤の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担い手の確保・育成 ユズの学校開催 (7~10 月、5 回) ・ 新植・改植の推進

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>果樹経営支援対策事業による新植(申請5戸44a) 現地巡回(8~10月、5回)</p> <p>○産地のブランド化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外の大手香料メーカー等との契約更新:10件 ・県内酒造メーカーが芳香蒸留水を活用したリキュールを商品化(7月) ・まるごと高知でのPRイベントの実施(7/20、21) ・土佐山ゆず祭り(11/30~12/11市役所レストランでの特製ランチ提供) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○安定生産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本技術の徹底 ⇒果実肥大・外観品質の調査による出荷量予測の実施 ⇒技術情報誌「ユズだより」における情報提供(毎月)、巡回指導の実施 ・スマート農業の推進 ⇒ドローン防除の定着に向けた方向性検討(~3月) ⇒電動式剪定ハサミ農家体験の実施(2月) <p>○生産基盤の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手の確保・育成 ⇒新規就農者支援に向けた研修の実施(1~3月) ・新植・改植の推進 ⇒本年度事業による新植者の事業実績確認支援(3月)、新植技術指導(随時) <p>○産地のブランド化</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒芳香蒸留水の販売先の拡大

■No.6 「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興（高知市）

《実施主体》

- ◎・（一財）夢産地とさやま開発公社
- ・連携農家

[指標]

販売額

- 出発点（H30）：1.73億円
- 直近値（R元）：1.85億円
- 到達目標（R2）：1.93億円
- 目標（R5）：2.1億円

[取り組み状況]

販売額（R2.11月末）：1.28億円（対前年同期比：94%）

○加工品の販路開拓・拡大

- ・各種展示商談会への出展2回（グルメ&ダイニングスタイルショー10/7～9、ファベックス関西10/28～30）
（新型コロナの影響により、10月から出展）
- ・日曜日や各イベントへの出店
（日曜市の休止：4/26、5/3 自主休止：4/12、5/5 以外は出店）
- ・既存商品のネット販売への追加やレイアウト見直し等によるインターネット販売の促進
（新型コロナによる需要増で対前年同期比：217%）
- ・新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金を活用した「自動液体・粘体充填機」及び「自動ラベル貼り機」の導入（2月）

○公社全体の経営改善に向けた財務分析と課題抽出、新型コロナ対策を踏まえた経営改善計画の作成と実行

- ・産業振興アドバイザー（課題一貫支援型 全体支援）の導入（6月～）
- ・産業振興アドバイザー（課題一貫支援型 個別支援）の導入（2月に実施予定）

[課題と今後の対応]

- ・各部門の売上の安定化及び拡大
⇒人員配置の見直しによる生産性向上
⇒新商品開発による商品ラインナップの充実
- ・営業体制の強化
⇒ネット販売委託の見直しによる経費削減（楽天のみ委託）
⇒自社人材によるネット販売の実施での収益の向上（自社サイト「土佐山マルシェ～夢産地とさやま～」、Amazon、Yahoo!）
⇒商談会等への出展（ギフトセット商品カタログ配布）
⇒日曜日や各イベント等への参加・情報発信による知名度の向上

■No. 8 加工品充実による直販所の活性化と
食の伝承（高知市）

《実施主体》

- ◎・JA 高知市女性部直販部会(直販所「真心ふ
あーむらぶ」)
- ◎・加工組織なるクラブ

[指標]

直販所売上高（暦年）

出発点（R元）：9,200万円

到達目標（R2）：9,400万円

目標（R5）：1億円

[取り組み状況]

直販所売上高（R2）：8,821万円（対前年比：96%）

なるクラブ販売額（R2）：3,241万円（対前年比：87%）

○直販所真心ふあーむらぶの販売拡大

- ・直販所事業戦略策定セミナー活用による運営体制の見直し及びレイアウトの改善（9/15、10/23、11/30）
- ・食品衛生関係勉強会（10/26）

○加工組織「なるクラブ」を中心とした加工品製造の充実

- ・POS データ分析による課題の検討、取り組みの進捗管理、製造計画の策定（5/25、7/13、9/28、10/14）
- ・6次産業化サポートセンター事業活用による経営分析、運営体制の見直し（9/10、10/13）
- ・土佐の郷土料理伝承講座（11/25）
- ・県版 HACCP に沿った衛生管理の手順書作成、チーム会の実施（6/15、7/27、8/24）
- ・食品表示勉強会（7/13）
- ・HACCP 研修会、農林水産物直販所「安心係」養成講習会
- ・新商品の検討（10/14）

[課題と今後の対応]

○直販所真心ふあーむらぶの販売拡大

- ・顧客サービスの充実
⇒直販所事業戦略策定セミナーの専門家派遣を活用した取り組み実践の支援

○加工組織「なるクラブ」を中心とした加工品製造の充実

- ・既存商品の見直し・重点化
⇒バリエーションのあるメニュー作りや既存商品の見直し
⇒販売額の向上を目指し、継続してチーム会を開催
- ・衛生管理と HACCP 対応
⇒継続して勉強会を開催し、県版 HACCP 第1ステージ認証取得のための手順書作成を支援
⇒6次産業化サポートセンターからの専門家派遣事業等を活用した取り組み実践の支援

<p>■No. 10 高知市の原木増産の推進（高知市）</p> <p>《実施主体》 ◎・高知市森林組合</p>	<p>[指標]</p> <p>素材生産量 出発点（H30）：3,056 m³ 直近値（R元）：3,914 m³ 到達目標（R2）：3,100 m³ 目標（R5）：4,200 m³</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>素材生産量（R2.12月末）：2,070 m³ （対前年同期比：68.6%）</p> <p>※昨年度は風倒木を対象にしており生産量が多かったため （今年度はコロナの影響で一時作業が止まっていたが、現在は回復傾向にある）</p> <p>・県から高知市及び高知市森林組合へ増産に向けた取り組み支援 （新型コロナの影響により説明会中止⇒個別説明 5/21）</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>・森林経営管理制度への対応強化 ⇒所有者不明森林の集約化による事業地の拡大</p>
<p>■No. 11 イタドリの外商推進による中山間地域の振興（高知市）</p> <p>《実施主体》 ◎・高知県イタドリ生産普及販売促進協議会 ・連携農家</p>	<p>[指標]</p> <p>加工品の販売額 出発点（H30）：89.4万円 直近値（R元）：247万円 到達目標（R2）：435.3万円 目標（R5）：1,000万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>加工品販売額（R2.12月末）：93.7万円 （対前年同期比：58.1%）</p> <p>※コロナ禍により外食関連事業者への取引量が減ったため</p> <p>○高知県内全域を対象としたイタドリ栽培産地の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鏡産イタドリ苗（ポット苗）の他地域への販売（4月） ・JA高知市女性部鏡支部加工部によるイタドリ加工技術研修会の実施（4/15：柳野地区から2名参加） ・JA高知市鏡支所イタドリ部会による現地での栽培技術指導（6/2、6/23大野見北地区）及び意見交換会の実施（6/23大野見北地区） ・高知県イタドリ生産普及販売促進協議会総会の開催

(10/7)

- ・高知県イタドリ生産普及販売促進協議会への集落活動センター柳野の新規加入 (10/7)

○加工品の販路開拓・販促活動に向けた取り組み

- ・各種展示商談会への出展：1回 (フードストアソリューションズフェア 11/18～19)

(新型コロナの影響により、11月から出展)

- ・食品製造メーカーによるイタドリを用いた新商品の開発 (7月～)

- ・外食ビジネスウィーク 2020 (第15回ラーメン産業展) の高知県ブースにイタドリを出展 (9/24～25)

- ・JA高知県女性部鏡支部加工部による販促活動 (まるごと高知でのテストマーケティング 11/3、大手食品卸会社に対する販促活動 11/4)

○ブランド化の推進

- ・JA高知県女性部鏡支部加工部による県版 HACCP 第2ステージ認証取得を目指すチーム会の開催

(5/19、6/26、7/6、8/3、9/14、11/10、12/4)

[課題と今後の対応]

- ・高知県内全域を対象としたイタドリ栽培産地の拡大
⇒イタドリ栽培を始めた地域への個別技術講習等の実施
- ・加工品の外商強化・ブランド化の推進
⇒市場ニーズに対応した原料の確保
⇒産地と販売者が一体となった組織 (高知県イタドリ生産普及販売促進協議会) による事業推進体制の強化
⇒加工施設の HACCP 対応等の検討

■No. 12 春野地区の農産物の付加価値向上

(高知市)

《実施主体》

◎・(有) スタジオ・オカムラ

・連携農家

[指標]

販売額

出発点 (H30) : 6,000 万円

直近値 (R元) : 6,100 万円

到達目標 (R2) : 7,000 万円

目標 (R5) : 9,400 万円

[取り組み状況]

販売額 (R2.12月末) : 4,757.2 万円

(対前年同期比 : 94.5%)

○加工品の販路拡大と新たな商品開発

・商談会等への出展 2 回

(ものづくり総合技術展 11/5~6、高知県産品商談会
11/25)

・百貨店・高質系量販店等への採用件数

新規取引先 3 社

R2 お中元への採用 4 社 5 商品 (うち新規 3 社)

R2 お歳暮への採用 4 社

・県外企業との商品開発の開始

・集落活動センター美良布からの依頼による商品 (しそシロ
ップ商品化・しそ飲料試作) 開発

・大手飲料メーカー新商品 (ベルガモット飲料) 開発への原
材料提供

・ベルガモットについてメディア等への露出

高知新聞 (8/31)、NHK こうちいちばん (10/28)、RKC こう
ち eye (11/30)

・ベルガモット関連商品数 10 商品 (開発中 1 商品)

[課題と今後の対応]

・原料の供給体制の強化

⇒栽培技術の周知、連携農家の掘り起こし

・販売拡大と外商強化

⇒既存取引先を中心とした営業の強化による販売拡大

⇒コロナの影響を踏まえた EC(イーコマース)強化対策

・商品ラインナップの充実と新たな主力商品の普及

⇒ベルガモットを軸にした柑橘類の新商品開発

⇒ベルガモット関連商品のメディア等への露出

■No. 13 竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出（高知市）

《実施主体》

◎・(株)コスモ工房

◎・(同)高知竹材センター

※地域産業クラスター関連（竹資源活用クラスタープロジェクト）

[指標]

売上高

出発点（H30）：7,671万円

直近値（R元）：8,196万円

到達目標（R2）：8,720万円

目標（R5）：1.1億円

[取り組み状況]

売上高（R2.12月末）：6,862万円（対前年同期比：110.9%）

※ハンドルの注文が好調なため

○販路拡大及び新商品の開発

・産業振興センターによる事業戦略実行支援（4月～）

・飛沫対策の亚克力板立ての開発（5月）

・工業技術センターと連携した新商品開発（6月）

・高知市ECサイト等利用促進支援事業費補助金の活用
（9月）

・県内建具製造業者と連携した新ブランドの立ち上げ

（11月）

・商談会への出展

ものづくり総合技術展（11/5、6）

国際ホテルレストランショー（2/16～19）

建築・建材展（3/9～12）

○集材・加工体制の維持・拡大

・竹関連事業者との個別協議

（5/20、8/13、25、10/12、11/25、12/23、1/20）

・クラスタープロジェクトチーム会の開催（11/13）

[課題と今後の対応]

・原竹の収量増

⇒土佐山地域周辺を中心とした県内全域への集材エリアの拡大

・自動車のモデルチェンジによる竹ハンドル部材の需要量変動への対応

⇒自社製品の開発

⇒工業技術センターや他事業者と連携した新たな竹材の活用検討

⇒県外見本市等への出展による新たな製品需要の掘り起こし及び販促活動

・業務用ブラシの取扱量及び生産量の拡大

⇒加工機械等の導入検討

■No.15 中心市街地における商業、観光等の
基盤強化による都市機能の増進及び経済活
力の向上（高知市）

《実施主体》

- ◎・高知市
- ・高知市商店街振興組合連合会ほか関係団
体

[指標]※第二期中心市街地活性化基本計画の目標値

(1) 中心市街地の居住人口

出発点 (H30) : 5,215 人

直近値 (R 元) : 5,407 人

到達目標 (R2) : 5,232 人

目標 (R5) : 5,290 人

(2) 歩行者通行量 (17 地点・冬季・平日休日 2 日の合計)

出発点 (H30) : 121,330 人

直近値 (R 元) : 144,672 人

到達目標 (R2) : 122,000 人

目標 (R5) : 123,278 人

[取り組み状況]

(1) 中心市街地の居住人口 (R2.3 月末) : 5,407 人

(調査は年に 1 回 4 月に実施)

(2) 歩行者通行量 (17 地点・冬季・平日休日 2 日の合計)

(R2.12 月末) : 75,866 人 (対前年度比 : 52.4%)

○高知市中心市街地活性化基本計画の推進

- ・第 12 回高知市中心市街地活性化協議会の書面開催

(5 月)

- ・内閣府へのフォローアップ(R 元実績)報告 (6/12)

○街なかにおけるにぎわいづくり

- ・こうち春花まつり

(5/3~5 新型コロナの影響により中止)

- ・第 12 回高知まちゼミ

(5 月 新型コロナの影響により中止)

- ・おびさんマルシェ

(4/12、5/10 新型コロナの影響により中止)

○「高知市 GoTo 商店街キャンペーン」の実施

- ・TSUNAGUマーケット～テイクアウトフェスタ～ (10/3、4)

- ・おまち d e 食べて買ってプレゼント (10/24~11/23)

- ・おまち d e 食べて飲んで得クーポン (11/22~30)

- ・中央公園地下駐車場の無料開放

(8~12月の毎週土曜日、日曜日、祝日及び12/28~31)

- ・高知市商店街活動等応援事業費補助金の創設 (9月)

- ・お買い物周遊バスの無料運行

(9/20~12/27の毎週日曜日)

- ・既存イベントへの支援拡充 (高知大道芸フェス、イルミ
ネーションフェスタ等)

- ・アートアクアリウム展～高知・金魚の海～

	<p style="text-align: right;">(12/19～3/7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おまち d e トレジャーウォーク (1/9～3/7) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による中心市街地の経済及び人の流れの停滞 <p>⇒商店街イベントに対する補助制度の創設 ⇒地域経済を活性化するための大規模イベントの実施</p>
<p>■No. 16 日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化（高知市）</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ ・ 高知市 ◎ ・ 出店者 3 組合ほか関係団体等 	<p>[指標]</p> <p>(1)新規出店者数</p> <p>出発点 (H30) : 11 件 直近値 (R 元) : 34 件 到達目標 (R2) : 20 件 目標 (R5) : 20 件</p> <p>(2)れんけい小間来客数</p> <p>出発点 (H30) : 14, 836 人 直近値 (R 元) : 19, 613 人 到達目標 (R2) : 24, 000 人 目標 (R5) : 24, 000 人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1)新規出店数 (R2. 12 月末) : 16 件 (うち 7 件が新基準) (対前年同期比 : 37. 0%)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響による</p> <p>(2)れんけい小間来客数 (R2. 12 月末) : 2, 236 人 (対前年同期比 : 12. 2%)</p> <p>※新型コロナの影響でれんけい小間休止 (R2. 4～5 月末) ※6 月以降も出店回数が減少</p> <p>○活性化に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日曜市エコバッグ販売への協力(街路市青年団)(6 月～) ・ れんけいこうち日曜市出店事業 (県内市町村の輪番出店) (通年) ・ Facebook による街路市情報の発信 (通年) ・ さんしん GO! での放送 (1/24) <p>○児童・生徒・学生の学習の場としての活用 (通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高知県立大〈健援隊〉 (新型コロナの影響により今年度中止) ・ 高知県立大フィールドワーク (新型コロナの影響により中止) ・ 高知大オープンフィールドワーク

	<p>(6月 新型コロナの影響により中止)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知商業高校販売体験 (6月まで新型コロナの影響により中止したが、7/19以降8回実施予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規出店者の拡大 ⇒規制緩和(仕入れ販売事業者の募集(年度内予定)) ⇒新規出店者へのテント貸し出し事業の実施による出店サポート(新規出店から3ヶ月貸し出し) ・地元利用者の拡大(リピート数アップ) ⇒イベントスペース出店とれんけいこうち日曜市スタンプラリー等の組み合わせによる地元利用者向けPR ⇒地元メディアを通じた情報発信 ・教育機関との連携による活性化 ⇒高知商業高校等とのフィールドワークの実施 ・新型コロナウイルス感染症による来場者の減少への対応 ⇒感染拡大状況を踏まえたイベントの実施や街路市の魅力を伝える広報の実施 ・れんけいこうち日曜市スタンプラリー
<p>■No. 18 本家よさこいのブランド力確立とよさこい文化の継承・発展(高知市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・高知市 ◎・(公社)高知市観光協会 ・その他関係団体等 	<p>[指標]</p> <p>(1)よさこい祭り来場者数 出発点(R元):115万人 到達目標(R2):120万人 目標(R5):120万人</p> <p>(2)高知よさこい情報交流館入館者数 出発点(R元):56,638人 到達目標(R2):57,750人 目標(R5):60,000人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1)よさこい祭り来場者数(R2.8月末): (8/9~12 新型コロナの影響によりよさこい祭り中止)</p> <p>(2)高知よさこい情報交流館入館者数(R2.4~12月末): :17,611人(対前年同期比:37.3%)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響による (4/10~5/10 閉館、県外観光客の激減)</p> <p>○よさこい祭りの運営体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競演場、演舞場の維持発展、継承方法についての勉強会や意見交換会の開催(今年度開催については未定)

- ・「土佐学生よさこい実行委員会」ボランティア協力による菜園場競演場の運営支援

(8/10～11 新型コロナの影響により中止)

- ・コロナ禍での運営に向けての意見交換会の開催 (10/20)

○高知よさこい情報交流館の充実

- ・春よさこいの開催 (4/25 新型コロナの影響により中止)

- ・「よさこいフラフ展」の実施 (6/4～7/21)

- ・「よさこいチーム旗展」の実施 (9/24～11/17)

- ・よさこいチーム旗演舞の実施 (11/15)

- ・VR・XR 体験デーfor よさこい祭りの開催

(11/20～21)

- ・鳴子づくり体験の実施 (4～12月) : 284人

(対前年同期比 : 30.3%)

- ・よさこい踊り体験の実施 (4～12月) : 1,486人

(対前年同期比 : 9.2%)

○県外のよさこいでの観光PRの強化

- ・2020 東京オリ・パラの開催延期によるプレミアムよさこい in 東京 (7/5 新型コロナの影響により中止)

- ・原宿表参道元氣祭スーパーよさこい2020への参加

(10/3～4 新型コロナの影響により中止)

- ・「第19回ドリーム夜さ来い祭り」パンフレットへの広告掲載による協賛 (11/7～8)

[課題と今後の対応]

- ・よさこい祭り中止による観光入込客数の減少

⇒観光庁の「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業に採択された高知市旅館ホテル協同組合を実施主体とするよさこい祭り関連事業との連携

- ・情報交流館の臨時休館や体験メニューの休止による来館者数や体験者数の減少

⇒交流館の企画展の充実や「よさこいリターンズ」等の代替イベントの開催

- ・各種イベントの開催中止による県外での観光PRの機会の減少

⇒県外イベントの開催状況とあわせて再開時期を検討

- ・コロナ禍でのよさこい祭りの開催

⇒感染対策に係るガイドライン等作成への協力体制の充実

■No. 20 桂浜公園を核とした桂浜エリアの活性化による観光振興（高知市）

《実施主体》

- ◎・高知市
- ・指定管理者
- ・民間事業者

[指標]

桂浜公園来園者数(暦年)

出発点 (R元) : 649,098人

到達目標 (R2) : 750,000人

目標 (R5) : 800,000人

[取り組み状況]

桂浜公園来園者数 (R2.1~12月末) : 384,589人

(対前年同期比 : 59.2%)

※新型コロナウイルス感染症の影響による

(桂浜公園駐車場閉鎖 4/29~5/10、県外観光客の激減)

○桂浜公園整備

- ・高知県観光拠点等整備事業費補助金の交付決定 (5月)
- ・耐震補強設計委託業者の選定 (6月)
- ・既存売店の購入 (6月)
- ・公的施設整備費用 360,000千円の R2年度補正予算計上
(12月)
- ・高知県観光施設等緊急整備事業費補助金の交付決定
(1月)

[課題と今後の対応]

- ・新型コロナウイルスの感染拡大の影響による民間事業者の投資意欲の低下
⇒サウンディングの実施スケジュールの調整
- ・指定期間や納付金額、指定管理者が管理する範囲等の仕様条件及び非収益施設の整備手法の検討
⇒他市事例を参考にした原案の作成

■No. 21 浦戸湾を活用した観光の振興

(高知市)

《実施主体》

◎・(株)土佐レジソ

[指標]

観光遊覧船の乗船客数

出発点 (H30) : 1,064 人

直近値 (R 元) : 1,631 人

到達目標 (R2) : 2,000 人

目標 (R5) : 5,000 人

[取り組み状況]

観光遊覧船の乗船客数 (R2. 11 月末) : 438 人

(対前年同期比 : 27.3%)

※新型コロナウイルスによる運航・イベント中止のため

○利用客拡大に向けた取り組み

- ・ラジオ、HP、SNS による情報発信(通年)
 SNS 投稿者に記念品プレゼント企画開始 (10/17~)
- ・高知市観光協会情報サイト「えいもん高知」への掲載

(6/1)

- ・遊覧船運航再開について新聞へ掲載 (7/2)
- ・高知放送での生中継放送(7/14)
- ・児童養護施設の子どもたちを招待(7/18、19)
- ・ケーブルテレビによる番組取材 (7/22)
- ・テレビ高地での生放送中継(8/19)
- ・ほっとこうち 8 月号掲載
- ・さんしん GO!での放映 (10/4)

○桂浜棧橋発着コースの運航に向けた取り組み

- ・棧橋-桂浜間の無線電波受信テスト(6/29)
- ・コンベンション協会のツアー造成に向けた取り組み

(9/28~)

- ・県土木事務所による桂浜工事の完了 (2 月末)

[課題と今後の対応]

- ・乗船客のさらなる誘客
⇒利用客の分析をふまえた PR の実施
⇒旅行会社を絡めたクルーズツアー商品の開発
- ・新コースの安定運航
⇒スタッフの増員

移住促進人材確保センター等への問い合わせ

2 令和2年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）
該当なし

3 県民参画に向けた取り組み

- ・関連事業者等に対する新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインや支援策の周知（5/29～）
- ・高知市観光協会に対する産業振興計画の取り組み及び支援事業の説明（7/2）
- ・高知商工会議所に対する産業振興計画の取り組み及び支援事業の説明（7/3）
- ・管内事業者への研修（HACCP研修、PRP（一般衛生管理）研修）等の周知
- ・その他、訪問、来所企業等に対する第4期産業振興計画等の説明

4 相談案件：17件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/15	商工業	建築材の認証にかかる補助制度についての相談
2	6/5	飲食業	県外出店にかかる補助制度についての相談
3	6/23	漁業	設備導入にかかる補助制度についての相談
4	6/30	畜産業	鶏舎内の舗装にかかる補助制度についての相談
5	7/8	商工業	竹資源活用に関する支援策についての相談
6	7/11	その他	春野町における歴史的建造物修繕についての相談
7	10/6	食品加工業	食品加工に関する補助制度についての相談
8	10/19	養殖業	養殖業に関する補助制度についての相談
9	10/19	酒製造業	酒製造に関する補助制度についての相談
10	10/19	食品加工業	食品加工に関する補助制度についての相談
11	11/13	レンタル業	企業立地にかかる立地候補地についての相談
12	11/30	その他	直販所とホテルを核とした活性化についての相談
13	12/10	商工業	産業振興計画推進融資についての相談
14	12/17	その他	土佐山地域の活性化についての相談
15	12/25	商工業	新商品の日曜市でのテストマーケティングの相談
16	1/13	その他	NPO団体の安定運営に向けた取り組みについての相談
17	1/18	観光業	観光施設建設にかかる補助制度についての相談